

SHIRAKOBATO

# しらこぼ



1995. 2

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 130

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 農業と野鳥

藤原寛治（岩槻市）

私は、昔有名なサギ山があり、数年前にはノハラツグミがでた浦和の郊外にある小さなJA（農協）に勤めております。そこで、農家の立場から見た野鳥についてのお話を述べさせていただきます。

## はじめに

農家の人にとって作物を作るうえで困ったものは、1に雑草、2に病害虫、3、4がなくて5に害鳥？というところですよ。農作物に害を与える野鳥は限られていて、スズメ、カラス、キジバト、カモ、ムクドリ、ヒヨドリが代表選手です。

先日、つくば学園都市にある農林水産省農業研究センター鳥害研究所に行く機会がありました。鳥害の全国的な詳しい統計というものはありません。その時に引用された50年位前からのデータを見ると、みなさんがすぐに思い浮かべるスズメによる被害は年々少なくなっています。コンバインの普及等の影響もあると思いますが、スズメの生息数そのものが減っているのではないかとこの方もおっしゃいます。一方他の鳥に関しては、逆に増加傾向にあります。

その中でも1955年以前は、被害がほとんど報告されなかったヒヨドリによる葉菜類の食害が、野菜農家にとって大きな問題になってきています。冬キャベツの作付面積の増加と関係があるのではという見方もあります。沖縄では、本土のバードウォッチャーにとっては憧れの鳥の一つ、ヒヨドリと同じ仲間のシロガシラによる被害が広がってきているそう



岩崎雄二（東松山市）

です。当農協管内では、さいわいヒヨドリによる被害はあまり問題になっておりません。

## 植木とカラス

当農協の管内は全国でも有数の植木の生産地ですが、ここで一番やっかいで嫌われている鳥はカラスです。春に苗木を植えていると植えたはしから引き抜かれてしまって、彼らに目をつけられた畑は、なす術なしということになります。大事な植えつけ作業がいつまでもできないことになります。毎年同じ場所に来るわけではないようで、自分の所だけは大丈夫とっていて突然やられてしまい、あわてて相談に来るケースが毎年あります。

苗木を生産している農家のSさんは、茨城県では、カラスの死体を売っているということを知ってわざわざ買いに行き畑の周囲につるしたそうですが、ある日、農協に浮かない顔をして来ました。『このようなものを許可なく吊していると法律で罰せられます…野鳥の会』というメモが置いてあったということです。「売っているものを買ってきて使ってなぜ悪いのだ。それじゃ、野鳥の会はこの責任を取ってくれるのか。どうしたらいいのだろう」と言って肩を落としていました。

カラスを吊しておくという方法は効果があるかという点必ずしもそうとは限らないようです。敵討ちという訳でもないでしょうが逆に大挙してやって来てひどい目にあつたという話も2~3人の人から聞きました。ただ、前述の鳥害研究所で聞いた話では、普通じゃないもの、異様なものを嫌うという性質があり、昔からカラス除けに実践されている方法なので効果はあると思う。たんに羽をまいておいただけで来なくなった例もあるということです。

## クワイとカルガモ

埼玉県が全国の生産量の9割を占めるクワイ。特にここ浦和東部地区は県内でも1、2の生産量を誇っています。このクワイがカルガモの大好物なのです。

クワイの植えつけは田植えが終わった6月下旬から7月初旬にかけて行われます。その年の初めにムロに入れて保存していた種クワイを田んぼに手で植えていきます。それを待っていたかのように夜になるとカルガモ達がやって来ます。一度来ると最低3日は同じ田んぼに来ます。初めのうちは夜だけ、そのうち昼間もいるようになって、ひどく食べられた所では、初めからまた植え直さなければなりません。農家の人もそれに対してキラキラ光るテープや糸をはったり、大きな旗を立てたり、夜間クワイ田の周囲に電球を点したり、獣や鳥がいやがる忌避剤を使ったりして抵抗してはいるのですが、まだこれといった決め手はありません。そのため、夜も定期的に見回って追い出すか、最後の手段としてはクワイを植えている田んぼをそっくり網で覆うしかないようです。そうしたカルガモとの攻防は、地上部分の茎葉が伸びて地下の種クワイの養分がなくなりカルガモの好みでなくなるまで約1ヶ月続きます。

前述の鳥害研究所でカルガモのうまい防除法について質問してみました。田植えしたばかりの苗を食べたり、倒したりといったことで稲作農家にも嫌われているが、防除は難しく最初は効果があっても、たいがい1週間で慣れてしまうので、やはり、これといった方法はないということでした。

## 磁石が効く？

昨年の春、当農協で隠れたベストセラーとなったものがありました。磁石です。ある人が磁石が鳥を来なくさせるというテレビを見て、実際に近所の金物屋で買って試してみると確かに効果があり、それが、口コミで広がったのです。なぜ効果があるのかという鳥は頭の中にコンパスを持っているので磁石が発する磁力線で自分の磁石が狂わされるのを嫌って来なくなるのだということなのです



熊谷鉄雄（練馬区）

が。

効果があったという人、ないと言う人。もっと大きい磁石を使えば効くと言う人。飛んで来る鳥には効くが、ハトのように地上を歩いて来るのには効かないとか、諸説紛々ですが、全然効果が無いとは言えないようです。

学校の理科で使うようなU字型の磁石を背丈位の高さに2mおき位につるしておくだけです。但し、子供たちに見つかるのとられてしまうので、買い物用のビニール袋をかぶせておくのがコツです。

## おわりに

病害虫の防除はある程度確立されてはいますが、鳥害の防除に関しては、まだまだこれからの分野です。野鳥も開発に追われ人間と接する機会がますます多くなり、農家とのトラブルも増えていくでしょう。

農業というのは、もっとも不自然なものなのだそうです。全く自然な状態では、広い面積に一つの種だけが成育するということはありません。もしそういう状況があったとしたらその植物を好む昆虫が爆発的に増え、また特定の病気が蔓延して、たちどころにその植物は壊滅的な打撃を受けてしまいます。ですから農業をするという事は、不自然な状態を作りだし、それを管理しているのだとも言えます。野鳥がそういった不自然なものに頼らなくてもいいような自然環境を守っていききたいものです。

私たちが守っていききたいと願う野鳥達を、こんな思いで見ている人達もいるという事です。広い視野で考える必要もあるわけですか

## シジュウカラ

三田長久 (狭山市)

とある探鳥会にて参加者のYさんがリーダーに聞きました。

Y:「シジュウカラって人の肩より高く飛べないんですってね。」

リ:「???。そうなんです。シジュウカクになると肩より上に手があがらなくなっちゃうんですよね。」

## 夢の中

渡邊光行 (浦和市)

バードウォッチングは、一番手軽な自然観察ではないかと思えます。バードウォッチングを始めた頃、プラスチックのバスケットなどで持ち歩いていたのは、気軽な感じと、当時すばやく持ち出したい物がどうしても多かったからなのです。手軽にという観念から、持ち物を一つ一つ削っていくと、一般的なバードウォッチングのスタイルになったわけです。

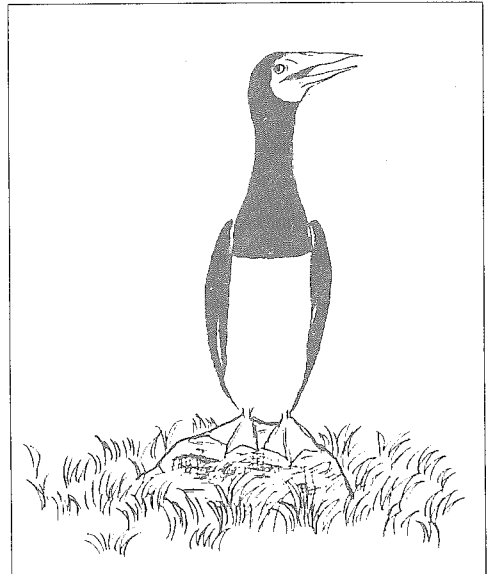
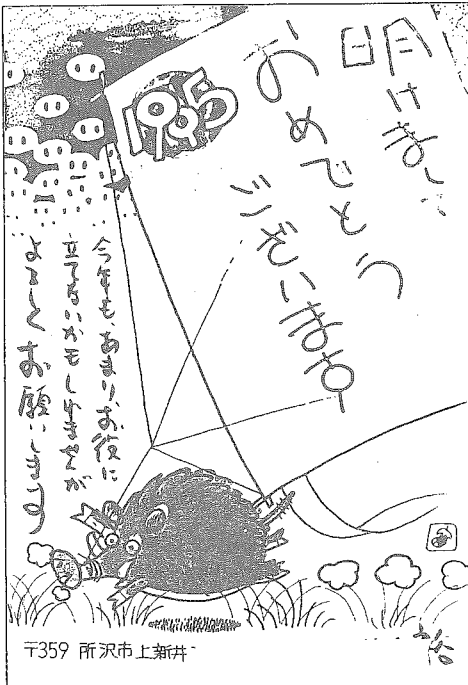
今でもフィールドでは図鑑3冊(鳥・虫・花)は持ち歩くようにしていますが、考えてみれば、何も持たない会社への行き帰りでも、自然観察は出来るわけです。ただ、そこからどれだけの物が必要になるかではないかと思われ



れます。バードウォッチングのスタイルにカメラを持つなりルーペを加えるのも、それもまた良いのかもしれませんが。

このごろ、スコープでのんびりと、カモ撮りをしているせいか、眠れない夜はカモが一匹カモが二匹カモが三匹などと数えて眠りに付いています。そんな日の夢の中で会う鳥達は、スコープや双眼鏡が無くても目の前に現れているのです。

会社への行き帰りやバードウォッチングの時に、持ち物が少なくても多くても、植物や昆虫に目が向いてしまっても、これからも野鳥を中心に自然に親しみたいと思っています。そして鳥達が目の前に現れ、自然の中で私達といつまでも身近に対話し続けられる環境になってくれる事を夢見しています。



柳瀬川観察記録

中村治 (上福岡市)

富士見市と志木市の境を流れる柳瀬川では、年1回秋に採鳥会が実施されている。ベッドタウンとして周囲の宅地化が進む中、この一帯は水田が残っており四季折々の風景が見られる。野鳥のほか草花や昆虫類も数多く観察されるが、ここでは鳥類について私の個人的な観察記録を中心にまとめたので報告したい。なお観察記録は1985年1月から1993年12月のデータを用いた。

参考文献

- (財)埼玉県野鳥の会 1985~1987  
野鳥さいたまNo.78-102
- (財)埼玉県野鳥の会 1987~1992  
ナチュラルアイNo.1-60
- (財)埼玉県生態系保護協会 1992~1994  
ナチュラルアイNo.61~83
- 日本野鳥の会埼玉県支部 1985~1994  
しらこぼとNo.9-121

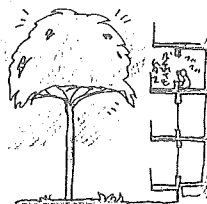
<野鳥情報>

12月1日、AM10:00頃 自宅前のケヤキの木にアオゲラ1羽。

コゲラはよくくるのでアオゲラは初めて。

「でかいヒヨドリだねー」と思ってよく見たら頭が赤く、木をツつき始めたのでギツギだとわかった。

写真を撮ろうと思ってレンズをほめたところ、飛んでいってしまった。残念。



マンション住まいですが、目の前にケヤキが1本あるだけで、けこう鳥が見られます。特に3月は絶好のポジション。

鈴木菜由貴

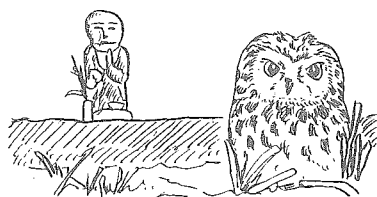
(浦和市鹿手袋)

表1 柳瀬川で見られる野鳥と観察時期

	春夏秋冬		春夏秋冬		春夏秋冬
カイツブリ	○	コチドリ	○○○△	タヒバリ	△△○○
ハジロカイツブリ※		イカルチドリ	△△△○	ヒヨドリ	○○○○
アカエリカイツブリ※		ムナグロ	▲	モズ	△△○○
カワウ	△ △○	ケリ※		ジョウビタキ	△△
ヨシゴイ※		タゲリ	△ △○	ノビタキ	▲
ゴイサギ	△△△△	ハマシギ	○ ○△	アカハラ※	
ササゴイ※		エリマキシギ※		シロハラ※	
アマサギ	▲	ツルシギ※		ツグミ	○ △○
ダイサギ	▲▲▲▲	クサシギ	▲ ▲	ウグイス	△△
チュウサギ	△	タカブシギ	▲	コヨシキリ	▲
コサギ	○○○○	キアシシギ	▲	オオヨシキリ	△○
アオサギ※		イソシギ	○○○○	メボソムシクイ※	
オシドリ※		チュウシャクシギ※		セッカ	○○○○
マガモ	△○	タシギ	○ ○○	シジュウカラ	○○○○
カルガモ	○○○○	ユリカモメ	△ △○	ヤマガラ※	
コガモ	○ ○○	セグロカモメ	○	メジロ	△
トモエガモ※		オオセグロカモメ※		ホオジロ	○△○○
ヨシガモ※		カモメ※		コジュリン	▲
オカヨシガモ	▲	ウミネコ※		ホオアカ	▲ ▲
ヒドリガモ	△ △○	シラコバト	△△△△	カシラダカ	△ ○○
アメリカヒドリ	▲	キジバト	○○○○	ミヤマホオジロ	▲
オナガガモ	△ △○	カッコウ※		シマアオジ※	
ハシビロガモ	○	ホトトギス※		アオジ	○ ○○
ホンハジロ	○	コミミズク※		オオジュリン	○ ○○
アカハジロ※		ヒメアマツバメ※		アトリ※	
キンクロハジロ	○	アマツバメ※		カワラヒワ	○○○○
スズガモ※		カワセミ	△△△△	ベニマシコ	▲
トビ※		アオゲラ※		シメ	△△
ハイタカ※		コゲラ	△△△△	スズメ	○○○○
ハヤブサ	▲	ヒバリ	○○○○	ニュウナイスズメ※	
チョウゲンボウ	△△	ツバメ	○○△	ムクドリ	○○○○
キジ	○○○○	イワツバメ	○○	コムクドリ※	
コジュケイ	△△△△	ショウドウツバメ※		カケス※	
クイナ※		キセキレイ	△○	オナガ	△△△△
ヒクイナ※		ハクセキレイ	○○○○	ハシボソガラス	○○○○
バン※		セグロセキレイ	○○○○	ハシトガラス	○○○○

○(普通に観察される) △(時々観察される) ▲(稀に観察される) ※(定期的には観察されない)

# 行事あんない



(渡辺 敦)

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会 埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：2月5日(日)

集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場、または午前8時15分 JR高崎線北本駅改札口、集合後タクシーで現地へ、リーダーの指示で分乗して下さい。

担当：岡安、榎本、内藤、吉原、永野(安)、永野(京)、渡辺(光)、川那部

見どころ：太陽と星座と磁場をたよりに数千キロの旅。冬鳥は今石戸宿に憩う。ワシ・タカや赤い鳥、青い鳥との出会いも期待!!

## 長野県 軽井沢探鳥会

期日：2月5日(日)

集合：午前9時10分 信越本線中軽井沢駅前  
交通：特急「あさま1号」大宮7:22→高崎8:10→中軽井沢9:02着、または熊谷6:16→高崎乗継7:13→中軽井沢8:13着

解散：現地午後2時ごろ

担当：町田、小池、佐久間

見どころ：久しぶりの「軽井沢探鳥会」、アカゲラやウソそれにベニマシコに会いたくて、チョップリコースを変えました。でも、運賦天賦は当日のお天気と神様のごきげん次第。降雪に備えて防寒と足持ちはしっかりと。

## 深谷市・仙元山公園探鳥会

期日：2月5日(日)

集合：午前9時 JR高崎線深谷駅前

担当：菱沼(一)、小淵、菱沼(洋)、斉藤、小野沢、中島(章)、関根

見どころ：軽井沢へはちょっと大変というあなた、仙元山はいかがですか。瀧宮神社は長倉神社、住宅地は別荘地、仙元山公園は野鳥の森といったところ。鳥も軽井沢にけって引けを取りません。

## 栃木県・千本松探鳥会

期日：2月11日(土・祝)

集合：午前9時15分 JR東北本線西那須野駅前、集合後バスで現地へ

交通：JR宇都宮線大宮7:16→宇都宮8:24発黒磯行に乗換→西那須野9:03着

解散：現地午後2時ごろ

担当：中島(康)、松井、桜庭

見どころ：初めて催す探鳥地です。ベニマシコ、ミヤマホオジロ、オオタカ、ノスリなどが期待できます。防寒支度をしっかりとってお出かけ下さい。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：2月12日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車。

担当：菱沼(一)、森本、小池、田口、菱沼(洋)、斉藤、根岸、中島(章)、和田、石井(博)

見どころ：野鳥の森が一番おもしろい季節。

常連のカラ達やメジロに加えてどんな珍客がいるかお楽しみ。アオジ、ルリビタキ、カケス、キクイタダキなど。

#### 所沢市 狭山湖探鳥会

期日：2月12日（日）

集合：午前9時10分 西武線西武球場駅前

交通：西武狭山線西所沢8:59→西武球場前9:04着

担当：三田、石井（幸）、長谷部、杉本、黒田、小野、中村（祐）、山本、久保田

見どころ：『気ままにバードウォッチング』のコース15を歩きます。繁殖羽のカンムリカイツブリを探しましょう。冷たい風が吹きます。防寒対策お忘れなく。

#### 群馬県 裏妙義探鳥会

期日：2月18日（土）

集合：午前9時20分 信越本線横川駅前

交通：特急「あさま73号」大宮7:52→高崎8:44→横川9:08着、または大宮6:56→熊谷7:38→高崎乗継8:39→横川9:17着

解散：現地午後2時ごろ

担当：松井、中島（康）、小林（み）、桜庭  
見どころ：奇岩連なる裏妙義の山々、見上げる岩頭から舞上るイヌワシ、感激の瞬間に期待と願いを込めて、片道約5km登ります。防寒と足拵えはしっかりと。

#### 上尾市 丸山公園探鳥会

期日：2月18日（土）

集合：午前7時30分 丸山公園北口駐車場

交通：JR高崎線上尾駅西口4番バス乗場より西上尾車庫行（畔吉経由）7:07発に乗車、前原下車徒歩10分

解散：午前11時ごろ

担当：立岩、吉原、乗田、阿久沢、丹、浅見、永野（安）、永野（京）、川那部、宇原

見どころ：早起きして鳥を見る、支部唯一の早朝探鳥会。ひと気の少ない公園は鳥がいっぱい。コバルトブルー一直線がきっと寒さを忘れさせてくれます。

#### 浦和市 三笠地区定例探鳥会

期日：2月19日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ）または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、笠原、伊藤、若林、岡部、倉林、嶋田、兼元

見どころ：風の匂いに早春の味がする。オオイヌノフグリやホトケノザが畦道に姿を見せる。風は肌寒いが春は近い。冬鳥たちも、いまを盛りに里帰りのための体力作りをしている。そんな鳥たちを見にお出で下さい。

#### 滑川町 武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月19日（日）

集合：午前9時30分 森林公園南口駐車場

交通：東武東上線森林公園駅より森林公園南口行9:17発バスに乘車、終点下車

費用：入園料 390円（子供80円）

担当：吉原、岡安、榎本、内藤、長谷部、小淵、渡辺（光）、岡野、藤掛

見どころ：冬期探鳥会での今迄の観察記録は62種、楽しみの多いシーズンです。青い鳥、黄色い鳥を見つけるのは誰でしょうか。それに梅も満開、アフターはいつとき鳥を忘れて花見にしませんか。



（バン 千葉 幸好）

行事案内は次頁にも続きます。

### 東松山市・物見山探鳥会

期日：2月25日（土）

集合：午前9時30分 物見山駐車場

交通：東武東上線高坂駅西口より、東武バス鳩山ニュータウン行き9:08、9:15発に乘車、大東文化大学前下車、進行方向に歩いて約5分。

担当：内藤、吉原、榎本、岡安、立岩、藤掛  
見どころ：タカの渡りの調査地点としてはおなじみの地、でも探鳥会は本当に久しぶり。春を待つ小鳥たちを樹間に求めて物見山から東松山市民の森を歩きましょう。



### 坂戸市・高麗川探鳥会

期日：2月25日（土）

集合：午前9時 東武越生線川角駅前

交通：東武東上線川越8:28→坂戸乗換8:41→川角8:50、寄居7:43→坂戸8:25着

担当：石井（幸）、松井、高草木、高松、新堂、佐藤（進）

見どころ：晩冬の高麗川に水辺の鳥、里の鳥を求めて歩きます。気まぐれなヤマセミに出会えればラッキー!! さあ寒さを忘れて出かけましょう。

### 行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：2月26日（日）

集合：午前9時30分 県立さきたま資料館前

交通：JR高崎線吹上駅北口より東武バス行田車庫行（佐間経由）8:55発に乘車、「産業道路」下車、徒歩15分

担当：内藤、岡安、立岩、吉原、榎本、和田、石井（博）、渡辺（光）

見どころ：古墳の丘に陽なたぼっこのカモ達を見ながら公園を一巡。近くで見ることができて識別には最適です。思いがけぬ出現鳥にも期待がかかるさきたまですが、それを見つけるのもあなたですよ。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：2月25日（土） 午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

### 野鳥写真クラブ定例会

とき：2月25日（土） 午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ。

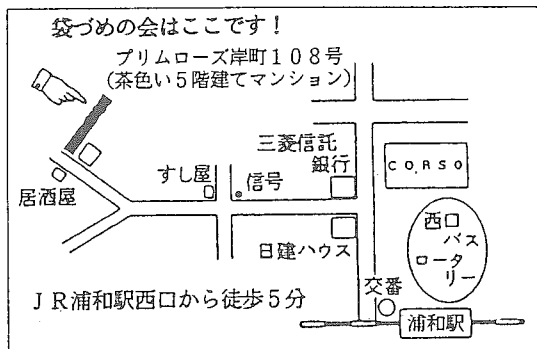
### 久喜市・昭和池探鳥会

期日：2月26日（日）

集合：午前9時45分 昭和池駐車場。公共交通の便がありません。タクシー等利用の場合は、JR宇都宮線白岡駅から

担当：中島（康）、松井、林（慎）、五十嵐、入山、浅田、玉井、内田

見どころ：昨シーズンは4000羽近くカウントされたカモの飛来池。その中からアメリカヒドリ・トモエガモ等を見つけたときのうれしさは“感激”そのもの。



3月11日（土）・日光東照宮探鳥会

3月12日（日）・大宮市染谷見沼公園探鳥会





ミミカイツブリ ◇11月4日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽。カモの群れから離れて1羽でいた。正面から見ると白い鳥のように見えた(古沢紀、小出博)。

カワウ ◇12月11日、坂戸市入西の調節池で約60羽(増尾隆・節子)。

ハヤブサ ◇11月29日、北本市石戸宿の自然観察公園で1羽(村上由香)。

チョウゲンボウ ◇12月10日、坂戸市西坂戸で1羽(増尾隆)。

ケリ ◇12月11日、坂戸市入西で4羽(増尾隆・節子)。

タゲリ ◇12月11日、坂戸市入西で3羽(増尾隆・節子)。

アカゲラ ◇11月29日、北本市石戸宿の自然観察公園で1羽(村上由香)。

シロハラ ◇1月3日、浦和市上野田で1羽。ブッシュに飛び込む時に見えた尾羽の両角の白が鮮やかだった(藤原寛治)。

ウグイス ◇12月16日、川越市鴨田の自動車道脇で1羽の死体。カラスにでもやられたのか後頭部につつかれたような傷あり(中司隆由)。

コガラ ◇11月29日、北本市石戸宿の自然観察公園で1羽(村上由香)。

ヒガラ ◇11月29日、北本市石戸宿の自然観察公園で1羽(村上由香)。◇12月27日、浦和市上野田の野田小学校付近の松の木の枝先で1羽。近くにシジュウカラやメジロの群れがいたが単独で行動していた(藤原寛治)。

ヤマガラ ◇11月6日、新座市本多の雑木林

で2羽(山口芳邦)。◇11月29日、北本市石戸宿の自然観察公園で1羽(村上由香)。

メジロ ◇12月3日、桶川市若宮の自宅団地のハナミズキの実を十数羽で鳴きながらついでいばむ(立岩恒久)。◇12月18日、富士見市の公団鶴瀬団地テラス住宅の庭先。鈴なりの柿に34羽の群れ。このへんでこれだけの群れは初めて。にぎやかなものでした。成り年の今年の柿はきっとおいしいのですね(中司隆由)。

### 野鳥情報をお寄せください

希少種に限らず、その場所では珍しいものやその時期には珍しいもの、あるいは珍しいわけではないけれども季節感にあふれた情報、ちょっと変わった行動など、いろいろな情報をお待ちしています。

はっきり言って、常連さんより新人びいきです。新しく情報を寄せてくださった方を優先して掲載します。

明らかに間違いと思われる情報は別にして、原則としてお寄せいただいた情報をそのまま掲載します。ただし、ご本人が確信がない場合や、珍しい種類でその裏付けがはっきりしない場合などは「？」マークをつけさせてもらう場合もあります。

珍しい種類の場合は、できるだけ写真や詳しい観察結果なども一緒にお送りください。

野鳥情報は、緊急の場合を除き、はがき、手紙、ファックスなどでお寄せいただくと助かります。ボランティアで電話の応答もしますが、会員の皆様も、できるだけボランティアの手数を減らすことにご協力いただければありがたいです。電話では間違いが起こる可能性も高くなりますので。

### 表紙の写真

### 『気ままにバードウォッチング』掲載作品

### アオジ(ホオジロ科)

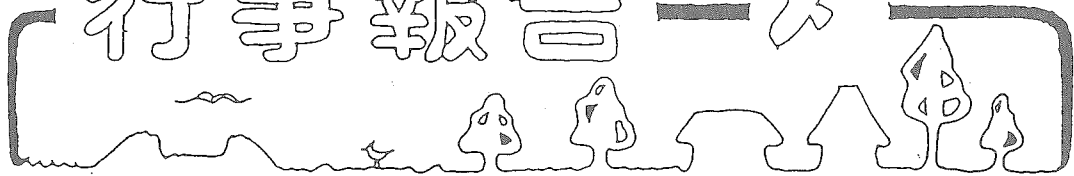
早春の見沼たんぼ。梅の木で、アオジのさえずりが聞こえた。まだ練習中といった感じで、控えめだった。

2羽が地面に降りて採餌していて、危険が近づくと梅の花に隠れていた。

この木の周囲には、アオジのほかに、メジロ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ジョウビタキ、ウグイス、モズ、ツグミ、シロハラ、コジュケイ、キジがやって来て、楽しませてくれた。

水内 誠(草加市)

# 行事報告



11月6日(日) 大宮市 大宮市民の森

参加: 38人 天気: 雨

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ  
ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロ  
ハジロ スズガモ チョウゲンボウ コジュケイ  
バン クサシギ タシギ ユリカモメ キジバト  
コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ  
ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイ  
ス シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒ  
ワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス  
ハシブトガラス (35種) 探鳥会開始と同時に雨が  
降り出し、どうなるかと思いきや。終わってみれば、  
35種と当地最多記録。雨脚が強くなり、早目に切り上げたが、水鳥を中心に堪能することができた。(林 慎一)

ホシハジロ キンクロハジロ トビ チョウゲン  
ボウ キジ アオアシシギ? クサシギ イソシ  
ギ キジバト カワセミ ヒバリ キセキレイ  
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ  
ジョウビタキ ツグミ ホオジロ アオジ カワ  
ラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシ  
ボソガラス ハシブトガラス (36種) バードソンのためか、多くの人たちが集まった。天気も上々。コハクチョウも確認済み。後は、カシラダカをぜひ見つけておきたい。バードソンチームと合流するために明戸堰へ向かう。途中、押切橋付近から風が強くなり、ホオジロの仲間がなかなか見つからない。明戸堰でチームと合流。やはりアオジ、カシラダカがまだとのこと心配。伊藤チームリーダーの挨拶後、全員で見送った。(菱沼一充)

11月12日(土) 福川市 川田谷

参加: 38人 天気: 晴

カワウ コサギ コガモ チョウゲンボウ キジ  
タゲリ タシギ キジバト コゲラ ヒバリ キ  
セキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒ  
バリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ  
ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カ  
シラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ  
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス (31種) スタート前からタゲリが飛ぶ。しかし、数は少ない。タゲリを見ようと、江川上流に向かう。少ないなー。スタート地点に戻って鳥合わせ。その最中に、タゲリの30~40羽の群れが何度も来て、鳥合わせが中断。やっと川田谷らしくなった。鳥合わせが終わったと思ったら、チョウゲンボウが出現。これは、追加。11月とは思えない暑さ。タゲリを見るにはもっと寒くないと気分が出ない、とはぜいたくか。(吉原俊雄)

11月20日(日) 吉見町 吉見百穴

参加: 59人 天気: 晴後曇

カイツブリ カワウ コサギ マガモ カルガモ  
コガモ ヒドリガモ ハシビロガモ ホシハジロ  
キンクロハジロ ハイタカ ノスリ チョウゲン  
ボウ コジュケイ キジバト カワセミ アオゲ  
ラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロ  
セキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグ  
ミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ  
ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクド  
リ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブト  
ガラス (38種) 秋のやわらかな日射しに紅葉が映え、晴れ渡った青空に枯葉が舞う。今回はコースを変えて市野川ぞいに土手を歩き、短大正門脇の道から大沼・天神沼へ向かった。大沼は釣り人のためかカモは少ない。だんだん天気があやしくなり早々に終了となる。(榎本秀和)

11月13日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 49人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ コハク  
チョウ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ

11月20日(日) 浦和市 三室地区

参加: 51人 天気: 曇

カイツブリ カワウ コサギ マガモ カルガモ  
コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ  
キンクロハジロ バン タゲリ イソシギ タシ

ギ ユリカモメ シラコバト キジバト コゲラ  
ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキ  
レイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ  
シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワ  
ラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス (36種) 三室の鳥の象徴“タ  
ゲリ”がやってきた。セキレイも3種揃って黄、  
黒、白と元気に尾っぽを振っていた。この頃、カ  
ワウが多くなって、水浴び、羽干しをしていて、  
はっきり特徴が見えた。初冬の三室の探鳥会は、  
参加者を楽しませて終了した。(楠見邦博)

11月23日(水、休) 深谷市 仙元山公園

参加: 39人 天気: 晴

コサギ オオタカ チョウゲンボウ キジバト  
アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ  
セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ジ  
ョウビタキ ツグミ ウグイス ムシクイ s p  
キクイタダキ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジ  
ュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオ  
ジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オ  
ナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種)  
いきなり市街地を飛ぶチョウゲンボウで盛り上が  
った。ここでは、鳥との距離がとても近い。瀧宮  
神社では、メジロの大群やキセキレイも。セキ  
レイ3種とツグミ、ジョウビタキを見ながら唐沢川  
沿いに歩く。仙元山公園では平地では珍しいコガ  
ラを含めたカラの混群、またキクイタダキ、ビン  
ズイも見られ、まるでミニ軽井沢。紅葉も楽しめ、  
充実した探鳥会だった。(菱沼一充)

11月26日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 16人

荒木恒夫、有山智樹、石井幸男、岩上照代、海老  
原教子、海老原美夫、尾崎甲四郎、佐久間博文、  
篠原東彦、藤掛保司、藤野富代、松元達夫、安原  
久子、谷津弘子、若林正徳、渡辺喜八郎 ㊦㊦㊦  
㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦ いつもご苦労さまです。

11月27日(日) 長瀬町 長瀬

参加: 58人 天気: 快晴

カイツブリ コサギ カルガモ コガモ オナガ  
ガモ トビ ノスリ チョウゲンボウ イカルチ  
ドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ  
キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ  
ヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ エナガ

シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ  
アオジ カワラヒワ スズメ オナガ ハシボソ  
ガラス ハシブトガラス (31種) オシドリとヤマ  
セミが人気の探鳥会。当日はいくつかの悪条件が  
重なり、オシドリは早々と退散。他のカモもほと  
んど見えず、ヤマセミも外出先から戻らずじまい。  
「リーダー早く出して」の声に、「トランプマン  
じゃないよ」と防戦一方。それでも全員がカワセ  
ミとカシラダカの歓迎を受けて、一安心。次回は  
誰かがトランプマンになってくれるかも。期待し  
てまた来てね。(小池一男)

11月27日(日) 狭山市 入間川

参加: 30人 天気: 晴

カイツブリ コサギ アオサギ カルガモ コガ  
モ トビ ハマシギ イソシギ ユリカモメ キ  
ジバト カワセミ ヒバリ キセキレイ ハクセ  
キレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジ  
ョウビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ カ  
シラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ  
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス (30種) 久しぶりにハマシギの群れが現われ、  
飛んでいる姿、休んでいる姿、共によく観察でき  
ました。しかし、以前に比べ、その数はかなり減  
り、探鳥会で見られないこともあります。ハマシ  
ギに限らず、いるべき鳥がいらないというのは、残  
念であり、また不安なものです。(長谷部謙二)

12月4日(日) 北本市 石戸宿

参加: 54人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ マガモ カルガモ  
コガモ オオタカ ノスリ ハイロチュウヒ  
チョウゲンボウ コジケイ キジ キジバト  
カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ ハクセ  
キレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ  
ウグイス エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウ  
カラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ  
アトリ カワラヒワ ウソ シメ スズメ ムク  
ドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブ  
トガラス (41種) 荒川の河川敷で、我々の前に珍  
鳥ハイロチュウヒが出現し、全員が沸き立った。  
他にも、ウソ(エゾヒガンザクラ前)、ノスリ、  
カワセミ、ヤマガラ(北里の森)、エナガ(駐車  
場)などが出現したが、印象がかすんでしまった。  
アンケートにご協力いただきありがとうございます。  
(岡安征也)

## 連絡 中張

### ● 団体署名など

日本野鳥の会愛知県支部では、同県が2005年の万国博覧会開催地として立候補を表明、瀬戸市南東部の丘陵地帯を開催予定地としていることにつき、そこは大部分が森林地帯であり、オオルリ・キビタキ・ホトトギス・サンショウクイなどの夏鳥が繁殖、オオタカも生息するほか、モンゴリナラなどの貴重な植物、ギフチョウやハッチョウトンボなどの昆虫、ムササビなどの哺乳類などが生息する豊かな生態系を有する地域であることから、万博を誘致することの是非はともあれ、開催地は既存施設を利用して実施し得る地域や遊休地を選定すべきであり、大規模に自然を破壊して巨大イベントを実施することは、もはや時代錯誤もはなはだしいものとして、開催地変更の要請運動を展開しています。

協力を求められた当支部では、役員会で検討した結果、愛知県支部の運動に賛同し、支部としての団体署名を送りました。

弘前支部からは、「岩木山におけるスキー場開発計画の中止を求める要望書」への署名協力要請がありました。これは個人署名を求めるものであったことから、役員会・探鳥会などで趣旨に賛同し署名されたものを取りまとめ、昨年12月に送付しました。

### ● 会員の展覧会

菱沼一充支部幹事や、支部主催の野鳥画展などに毎回ご協力いただいている吉田博氏が所属している『野鳥を描く会』の、初めての作品展が開催されます。

期間 2月5日(日)～12日(日)

時間 午前9時～午後5時(5日は正午から、12日は午後4時まで、6日月曜休館)

場所 東京港野鳥公園ネイチャーセンター  
TEL 03-3799-5031～2

問い合わせ先 山本政臣 TEL

初心者からプロ画家まで、野鳥を愛し、野鳥画を描くことが好きな仲間たちの会で  
す。

### ● 自然学習センター企画展に協力

北本市の県自然学習センターが1月15日から22日まで開催した企画展「バードカービング作品と野鳥写真展」に、写真パネル貸出などの協力をしました。

### ● 2月の土曜日当番(2時～6時)

- 4日 登坂久雄 金井祐二
- 11日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 18日 森本國夫 浅見健一
- 25日 袋づめの会(1時から)

### ● 会員数は

1月5日現在2,482人です。

## 活動 報告

12月3日 普及部会議。

12月7日 『気ままにバードウォッチング』をNHK朝のニュースで紹介。反響多数。

12月10日 編集会議。

12月18日 役員会議(司会:海老原美夫、探鳥会予定の変更・愛知県支部からの要請について・評議員会への対応・備品の購入・その他)。

12月27日 読売新聞記者来所、浦和市秋ヶ瀬公園のフクロウに関する取材。

## 編集 後記

編集用に新しいワープロを買った。今までは自分の仕事用も支部の編集用もキャノワード系統だったのに、字体の変化などを求めてシャープの書院にしたら、慣れなくて四苦八苦。新しい機械を覚えるのは、楽しいけど。(海老原)

職場の昼休みに、構内を散歩しながら鳥を見ている。ある風が強い日に、あまり期待しないで歩き始めたら、なんとマヒワの群れに出会った。その数25。おまけに今季は何年ぶりかでヤマガラが多くて、それも一緒に見られ、思わず顔がほころんだ。ここで確認した鳥は74種にもなり、どこまで増えるか楽しみ。(森本)

『しらこぼと』1995年2月号(第130号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130

印刷 関東図書株式会社 (本紙掲載記事の無断転載はかたくおことわりします)

再生紙使用